

2019・10・9 令和2年産麦作情報 第2号

仙台麦作情報

宮城県仙台農業改良普及センター

Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

<http://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/>

* 稲刈り後は直ちに麦の播種をしましょう *

黒川地域では播種適期に入り、仙台地域はまもなく播種適期をむかえます。

冷涼な地域ほど生育量確保に時間を要するため、播種期限が早くなります。

黒川地域の播種晩限 10月20日 (適期「10月5日～10月10日」)

仙台地域の播種晩限 10月30日 (適期「10月15～10月20日」)

★ 1ヶ月予報 (10月3日 仙台管区气象台発表)

- ・ 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込み
- ・ 向こう1か月の平均気温は、高い確率50%
- ・ 1週目 (10月5日～10月11日) は、平年並または高い確率ともに40%
- ・ 2週目 (10月12日～10月18日) は、平年並または高い確率ともに40%
- ・ 3～4週目 (10月19日～11月1日) は、平年並または高い確率ともに40%

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



凡例： ■ 低い (少ない) ■ 平年並 ■ 高い (多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >



凡例： ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

★令和2年産の栽培管理

①碎土率の向上

地表面の土塊を小さくすることにより播種精度が向上し、出芽率向上や除草剤の効果を最大限に発揮させることにつながります。

- ・直径2cm以下の小土塊の作土における比率が70%以上を目標とします。



【写真1】

中央から左側が碎土率70%以上の状態です。

②徹底した「排水対策」

出芽前後は湿害を受けやすいので、播種前に排水対策を徹底しましょう。

○弾丸暗きよ

- ・本暗きよに対し、1~3m間隔で直角に施工しましょう。
- ・耕盤の下に設置する必要があります。
→深さ目安：30~40cm程度

○明きよ

- ・地表水が排水されるよう明きよ（溝）を掘りましょう。
→深さ目安：20~30cm程度
→水口から水尻にかけて傾斜をつけると良いです。
- ・年内に明きよの補修を行いましょう。

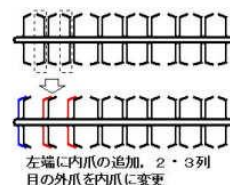
【写真2】

溝堀機を用いた
明きよ設置



○うね立て播種

- ・広うね成形播種
→ロータリーの爪配列の変更により往復の作業工程で広うねベッドと溝を成形します。
- ・耕うん同時うね立て播種
アップカット（逆転）ロータリーの耕うん爪を畝の中心に向けて、曲がりを揃えて取り付くことで、耕うんと同時うねを作ることができます。



左端に内爪の追加、2・3列目の外爪を内爪に変更



【写真3】

広うね成形播種

③適正な基肥施肥

- ・基肥標準施肥量は10aあたり成分量で
N（窒素）8~10kg, P（リン酸）8~10kg, K（カリウム）10kgです。

④雑草防除

- ・前年発生した雑草の草種（イネ科、広葉雑草）に応じて除草剤を選択しましょう。
- ・播種直後から播種後2~3日以内を目安に土壌処理タイプの除草剤を散布しましょう。
- ・土壌処理タイプの除草剤は、土の表面に薬剤処理層を作ることが重要です。好天により土の乾燥が進んでいる場合は既定の範囲で水量を増やして散布しましょう。

【まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全】

秋の農作業安全確認運動 ~令和元年9月15日から11月30日まで~